

令和元年度 五ヶ瀬町立上組小学校関係者評価書

A とてもそう思う（達成度80%以上） B ややそう思う（達成度50%以上80%未満） C あまり思わない（達成度20%以上50%未満） D 思わない（達成度20%未満）

NO	評価項目	自己評価	関係者総合評価	学校訪問時の感想及び要望等	
1	満足度及び職員・子どもの態度	子どもたちは、毎日楽しそうに学校に通っている。	B	B	2 各々の学校、地域のカラーが有ると思うが、上組は他の学校に比べて違うカラーを持っていると感じる。（例 にここ教室） 5 学校は工夫しているが、地域に十分には伝わっていない。（常会出席が男性が多いことが関係しているかもしれない） 6 あいさつは大人でも難しい。声かけのタイミングもあるし、届かない事もある。登校の際も同様で、子ども達が声を出した時は車は過ぎて止まって頭を下げるのは特に難しい。 ○ 日常生活（学校外）でのあいさつが昔と比べて少し出来ていないかなと感じますが、それは学校ではなく保護者の指導の問題なのかもしれません。
2		「地域の子どもたちを本校で学ばせることができてよかった」と思っている。	A	A	
3		職員は、教育活動に熱心に取り組んでいる。	A	A	
4		職員は、本校に来校した地域住民や保護者に明るくいていないに対応している。	A	A	
5		学校行事や体験活動には、地域住民や保護者が参観しやすいよう工夫している。	B	B	
6		子どもたちは、学校内外でしっかりとあいさつができています。【五ヶ条「あ」】	B	B	
7	保護者地域との交流	普段から教職員と保護者で交流ができています。	A	A	8 地域行事は夜や土日・祝日が多く、休日返上でよく参加されており、とても感謝している。参加は先生方の自己判断でもよいと思うし、働き方改革のためにも、この評価項目は削除してよいと思う。 9 地域の行事は伝統・文化に深く関わっている為、参加する事で児童も自然に学んでいる。
8		教職員が地域の行事に積極的に参加するなど、地域住民との交流ができています。	A	A	
9		地域の行事に子どもたちが積極的に参加・協力する体制ができています。	A	A	
10	危機管理・情報公開	防災訓練をはじめ、非常災害時の対策を講じている。	A	A	○ 少数だからこそ目が届く利点で、良く配慮されていると思う。 ○ 登下校の際の防災訓練、非常災害時の対策、突然起こった場合の対処法を知らないよりは知っている方が役に立つので、口頭でも学ぶ機会があると良い。
11		学校の教育方針や重点的な取組が明確で、保護者に浸透するよう努めている。	A	A	
12		いじめ防止のための対策やいじめ発生時の対応・体制がとれている。	A	A	
13		配付資料やホームページ等で、学校や子どもたちの様子（成績を含む）を適切に公開できている。	B		
14	環境	学校内の掲示物を工夫するなど、児童の学習環境が整えられている。	A	A	○ 教室の整理整頓、ロッカーやすみずみまでの掃除が行き届いていない。自分達が使っている教室を中心にきれいにさせたい。 ○ 児童数が少なくなっており、地域全体で学校の掃除をする日を設定するとよい。
15		清掃・整理整頓が行き届いており、明るく清潔な環境の中で教育ができています。	B	B	
16	確かな学力	諸学力調査の結果を分析・考察し、指導に役立てている。	B	B	○ G授業が苦手、人前で話すのが苦手は仕方ないが、1年1年の積み重ねで苦手意識も徐々に改善され成長している。 2/4に五中で行われた町内6年生のプレゼンの際、アクシデント発生。子どもたちはあわてるどころか顔色ひとつ変えず、立派に発表を終えた。 ○ ①と②は、学校評価に合わせて評価した。
17		授業は、子どもたちにとって分かりやすく一人一人の実態に配慮されている。	A	A	
18		G授業は、子どもたちの成長につながっていると感じる。	A	A	
19		授業等で、子どもたちの学力が向上していると感じる。	A	A	
①		「家庭学習の手引き」「学習の決まり」の共通実践を行い、学習の習慣化と定着を図っている。	B	B	
②		児童一人一人を大切に授業展開を図りながら振り返る時間を確保するなど工夫し、子どもたちの学力の向上を図っている。	B	B	
20	豊かな心	地域の人材や資源を学習活動等に効果的に活用するなど、五ヶ瀬（地域）のよさを幅広く認識する教育活動が意図的に実施されている。	A	A	○ 普段のにここ教室の様子から、思いやりの心が育っているとは言えない。 思いやりは言葉では無い。頭では分かっていると思うが、行動が伴わない。何気ない一言が大人でも難しい。「自分だったらどうかな?」と考える事、その人の立場になったら?と思うが共有できない感情。困ったら助けを請う、手をさしのべる声をかける事がスムーズにできると良いと願う。 ○ ③は、あいさつ、整理整頓の評価との整合性からB評価とした。
21		学校行事や体験活動の目的等は、保護者に理解され、内容は充実している。	A	A	
22		本校の教育活動により、子どもたちは思いやりの心が育っていると感じる。	A	B	
23		読書推進の取組により、子どもたちが読書に親しんでいると感じる。【五ヶ条「う」】	A	A	
③		凡事徹底の継続と定着を図っている。（あいさつ・返事・整理整頓・立腰等「当たり前のことが当たり前に行える教育」）	A	B	
④	日頃の教育活動や体験活動の充実を図り、高い自己肯定感と思いやりの心をもった児童の育成を図る	A			
24	健康・体力	早寝・早起き・朝ごはん（朝大豆）、健康な歯や口腔の衛生等、健康的な生活習慣づくりのための取組に努めている。【五ヶ条「い」「え」】	A	B	○ 保護者アンケートと上小職員アンケート参考 ○ 夏休みの親子でクッキングの取組、食に着目する良い課題だと思う。 ○ 26は、自己評価をもとに評価した。
25		テレビやゲーム等のメディア利用の適正化に向けて、家庭と連携した取組に努めている。【五ヶ条「お」】	B	B	
26		体力テストの結果や体力向上プランをもとに、児童の体力向上にしっかりと取り組んでいる。	B	B	
⑤		「給食マナーの日」「弁当の日」を設定し、栄養教諭や家庭と連携した食育の推進を図っている。	A	A	

【 令和元年度の総括評価 】

- 1の設問の表現・・・楽しく学校に通っている。→学校へ行くのが楽しい・「登校」と誤解？ 単に学校は楽しいですかで表現してみては？
 - 2の設問・・・にここ教室は全ての長期休みに対応する等、地域で見守り体制ができています（他校も利用）。それだけ児童を保護者で大事にしているということではないでしょうか。
 - 5・・・2/2の学習発表会の際、学校との関わりが皆無の方が参観されていたが、児童からの招待状や年賀状が足を運ばせているようだ。
 - パソコンやタブレットを使った発表は美しく便利だが、2/4の6年生の発表の事を思うと、古い様だが念の為とか不測に備えての準備も必要だと思った。
 - 少しの空き時間に本を見る児童の姿を目にする。うわべだけでなく、集中している。
- 児童数が少ないこともあり、子ども達一人一人によく目が届いていると思います。町場の学校では考えられないことですね。だからみんな良い子に育っていくのでしよう。ただ、ステージが上がっていくにしたがって、多くの人達の中に入っていくといけません。自分の考えを持つ、それを人に主張できる、間違いは素直に認め更にステップアップしていく。そして、将来は五ヶ瀬町を背負って立つ、そんな子ども達を育ててください。